

横須賀海軍施設における排水処理施設からのPFOS等含む排水への早期対応を求める決議

令和4年9月30日、南関東防衛局より本市に対し、在日米海軍が同年8月29日に実施した横須賀海軍施設の排水処理施設におけるサンプリング調査結果の報告があった。

この報告によると、PFOS等の計測値として、生活排水ラインにおいて8,592ng/L、産業排水ラインにおいて5,450ng/Lという結果が判明したとのことであった。

これらは、国が定める暫定目標値の約109倍ないし約172倍であり、市民の健康と安全・安心に大きな不安と懸念を与えるものである。

また、再三にわたり市側から要請を行ったにも関わらず、今回のような数値が検出されたことは、これまで国及び在日米海軍において、適切な対応を行ってこなかったと疑わざるを得ない。

よって、横須賀市議会は、国及び在日米海軍に対し、一刻も早く、市民の不安を払しょくし、市民の健康と安全・安心が確保されるよう、速やかな原因究明、情報提供及び実効性のある再発防止策を講じることを強く求める。

以上、決議する。

(提出年月日) 令和4年10月4日

(議決年月日) 令和4年10月4日

(議決結果) 可決(全会一致)